

エンジニアパーク

# Engineer Ring Park

札幌で生まれ育った私が、就職氷河期の中、奇跡的に関西の機械メーカーに採用となって5年半後、雪が恋しくて、いや都落ちして札幌に戻ってきました。サケのように母川回歸したのです。

私は現在、さけ・ますの増殖河川を中心に、主に水質について水産の立場から捉え、漁業者が安心して仕事に従事できるよう、漁場環境を保全する業務を行っています。技術士については、業務上の必要性から、周囲の期待(圧力ともいう)に押し潰されかけながら、取得と相成りました。

さて、私は高校で山岳部とスキー部に所属し、大学ではテレマークスキーを履いて山を滑っていました。テレマークスキーは今でも続けています。一方、学業の方もフィールド重視の研究室で、サロベツ原野や雨竜沼などの湿原を中心に、現場に足を運ぶ毎日でした。恩師の先生からはいつも、「直感を大事にしなさい。感じたことは理屈と合っていることが多い」と教えられました。感性が磨かれてくると、ちょっとした違和感として異変が分かるらしいのです。20年以上経過した今の私には、少しだけそれが分かるような気がします。そして、「直感力」を維持するためには、現場に行き川の流れを嗅ぎ、耳で漁師の話を聞き、目で周囲を見て、体全体で感覚を研ぎ澄ませなければなりません。いつも直感に従い、酒で失敗する私ですが、これからも現場を大事にしていきたいと思っています。今後、私が回歸した河川の先に何が待っているのでしょうか？ 巨大な落差工、油の流出、家畜糞尿、土砂による濁り…何があっても対応できるよう跳躍力も必要でしょう。安易に釣餌に飛びつかない冷静さ、時には一度河口まで戻る心の余裕を持っていたいところです。いつかホッチャレになるその日まで継続研鑽したいと思います。

## 中村 信哉(なかむら しんや)

●建設部門(建設環境)

勤務先

北海道漁業協同組合連合会



→次号は、飯村幸代さん(建設部門)

私は学校卒業後の平成元年4月に札幌の建設コンサルタントに入社し、主に鋼道路橋の設計業務に従事してまいりました。その後、平成23年から子会社である今の職場に転籍となり、現在は橋梁の各種調査・補修設計業務に携わっております。

入社当初は、会社の先輩方が持っている豊富で高度な知識や迅速な判断力を持って設計業務をこなしていることに憧れ、自分も早くプロフェッショナルになりたいと切に思うようになりました。そのためには技術士取得は必須だと考え、実務を熟すと技術士を取得することを目標に日々精一杯だったのを覚えています。

その後、技術士を無事取得しましたが、今思うと技術士を取得してからが大きな人生の変化を経験しました。当時(20年程前)、橋梁の維持管理が重要視されてきている中で、点検・調査、補修・補強設計といった将来に繋がるジャンルを会社の中で一早く任されたり、つくばの研究所へ交流研究員として出向する機会にも恵まれて高度な研究開発に携わることもできました。また、沢山の技術者の方々と出会い、貴重な縁も作る事ができました。どれもこれも技術士を持っていたからこそ、今現在の自分を作ってくれた貴重な経験を積むことができたと思っています。このようなことから、技術士を取得することの大事さをしみじみと痛感した経験から、一人でも多くの技術者が技術士を取得できるよう微力ながらどんな形でもご協力していきたいと考えています。

今後は、周囲への感謝と謙虚な気持ちを忘れずに自己研鑽を継続し、少しでも社会に貢献できるよう努力していきたいと思っています。

## 次村 英毅(つぎむら ひでき)

●建設部門(鋼構造及びコンクリート)

勤務先

株式会社北未来技研  
構造事業部



→次号は、岩淵 直さん(建設部門)